

# 広聴特別委員会記録

令和6年7月12日

【開催日】 令和6年7月12日(金)

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前11時44分

【出席委員】

委員長	森山 喜久	副委員長	前田 浩司
委員	奥 良秀	委員	白井健一郎
委員	中島 好人	委員	藤岡 修美
委員	宮本 政志		

【委員外出席議員等】

議長	高松 秀樹		
----	-------	--	--

【事務局出席者】

事務局長	石田 隆	事務局参事	河口 修司
------	------	-------	-------

【審査内容】

1 モニター意見交換会について

- (1) 3月定例会のモニター意見の抽出及び委員会への振り分け
- (2) 6月定例会のモニター意見交換会の担当割り振り

2 議会カフェについて

- (1) 12月定例会の議会カフェにおける質問に対する回答案について
- (2) 3月定例会の議会カフェのアンケートの集計確認、議会カフェ報告書の質問等の抽出及び担当委員会の振り分けについて
- (3) 6月定例会の議会カフェについて
  - ア) マニュアルの確認
  - イ) 議員の役割分担
  - ウ) ポスター・チラシの配布について

3 その他

---

午前10時 開会

---

森山喜久委員長 ただいまから、広聴特別委員会を開会いたします。それでは

付議事項1番のモニターの意見交換会についてになります。(1)3月定例会のモニター意見の抽出及び委員会への振り分けですが、前回の委員会で、市議会モニター意見交換会の報告書は確認をさせていただきました。その中から意見交換会で聴取した意見を別紙のとおり3点ほど上げておりますので、担当委員会に振り分けをしたいと思います。1点目が、「YouTubeを使いたいという気持ちはあるけど、YouTubeの使い方が分からないという方もいると思う。YouTubeとはこうやって使いますよ、アプリとはこういうものですよ、という講座や動画を作ってはどうか。」ということ。2点目が、「The 市議会の記事は、継続的に記事を読んでもらえないか。例えば、委員会レポートで堤防を作ることになりました、予算がどれくらいです。だけではなく、後日、堤防がこんな風にできましたっていう写真を載せるなど、継続的にしてほしい。一般質問のことも同じ。」ということ。そして、3点目に、「LINEになぜ市議会が入っていないのか。定例会の日程や一般質問、委員会が通知できないか。」という意見がありました。これらをそれぞれ担当委員会に振っていきたいと思いますが、最初の「YouTubeを使いたいという気持ちはあるけれど」のところは、どちらの担当委員会になるのでしょうか。

藤岡修美委員 何となく役割としては広聴特別委員会と思います。

森山喜久委員長 広聴特別委員会でやったらどうかという御意見ありましたが、どうでしょうか。ほかに御意見がなければ、広聴特別委員会ということでもよろしいでしょうか。

宮本政志委員 これは、ユーチューブ全般のことをいっているのか。それでもユーチューブの使い方が分からないけど、ユーチューブとはどういうものなのか。ユーチューブそのものはこうやって使いましょ。アプリとはこういうものという説明を広聴特別委員会の範囲内のことを限定して広聴特別委員会でやるの。つまり、議会報告会でやるユーチューブ動画を見るために、「ユーチューブは、パソコンを開いて電源入れて、ここ

をクリックしてこうやって、ああやって」っていうことでのユーチューブそのもの。議会には関係なく、「アプリとはこういうものですよ」って、「講座や動画をつくってはどうか」っていうことよね。広聴特別委員会で講座をやりましょうってこと。講座も講師を呼んでやってもらうのか。あと、動画をつくってはどうですかよね。もう少し詳しい議論をしないといけないのではないか。

藤岡修美委員 当然議会モニターからの意見なんで、議会関連のユーチューブを見たいというふうに私は受け取っていますけども。

森山喜久委員長 内容としては議会関連のユーチューブを見る際に、そのボタン含めて分からないところがあったりしたらいけないので、そういう動画をつくって流してはどうかと。ですので議会報告会の前段とか始まる前の待ち時間とかにそういうのを流してもいいんじゃないかという点も含めて言われておったと記憶しております。

奥良秀委員 この意見は私が出席したモニター意見交換会の際の意見だと思います。要は、携帯等でユーチューブをどういうふうに見たら、委員会とかを見られるかっていう話があったので、私としたら、議会報告会の際に、こういったものを流したらいいんじゃないかっていうことを具申させてもらいました。あとは、広聴特別委員会なのか、広報特別委員会なのかはよく分からないんですけど、どちらかといえば、見てもらうほうなので広報特別委員会ではないのかと思う。そんなに難しいことではないと思いますので、検討されたいと思います。

森山喜久委員長 広報特別委員会か広聴特別委員会なのか分からない点はあるけれどということです。

白井健一郎委員 多分、このモニターは、ユーチューブを始めて、いわゆるスマホをどう扱ったらいいかちょっと分からないっていう一番基本的なと

ころがちょっと弱い方だと思うんです。その方のために、講座や動画をつくるというよりは、取りあえずユーチューブのアプリを入れて、そして初めのところにある検索のところ、例えば「山陽小野田市議会と入れてクリックしたら大体出てきますよ」ってそのぐらいじゃないですか。別に講座や動画をつくるまではいかななくてもいいんじゃないかなと思うんですけれども。

奥良秀委員　そこができないという話があり、親切丁寧に教えてあげたほうがいいんじゃないかっていうことがモニター意見交換会の中で出たんで、今こういう話になっています。

森山喜久委員長　中身もそうなんですけど、担当委員会をどうするかという形になります。私たち広聴特別委員会のほうでどうか。広報的な活動ではないかという話もあるんでしょうけど。

奥良秀委員　見てもらうというところが強いと思いますので、広報特別委員会にお任せしたいと思いますがいかがでしょうか。

森山喜久委員長　広報特別委員会でいいんじゃないかという話がありましたが広聴特別委員会と広報特別委員会という意見が出ています。他の皆さんはどうでしょうか。

中島好人委員　モニターからの意見で、モニターとの関係が強いのは、この広聴特別委員会だと思うんですよね。現に奥委員が意見交換会の担当のときというふうに考えると、広報特別委員会というよりは、どちらかというと広聴特別委員会かなと思います。

宮本政志委員　これは両方でやりゃいいんじゃない。さっき奥委員が言われた議会報告会でユーチューブを流すときにそのユーチューブの見方が分からんということと言われて、そのときは議会報告会の中で、「このよう

にしたらこれが見れますよ」っていうのを議会報告会でやればいい。それは広聴特別委員会でしょ。ユーチューブ動画は広報特別委員会よね。だから、それはどうするのっていうことで、議会報告会とユーチューブの全体のことやから、広報特別委員会と広聴特別委員会のそれぞれの範囲内でやればいいんじゃない。別に広聴特別委員会、広報特別委員会のどちらかに決めなくても。これで、広報特別委員会を担当して、ユーチューブ動画にユーチューブの使い方の内容を入れてくれんやったら、「議会報告会でまた分かりません」ってなる。奥委員が対応した内容から言うたら。別にどちらか一つに絶対に分けんないといけんってわけじゃないけど、広報特別委員会と広聴特別委員会のそれぞれ範囲内でやればいいんじゃないですか。

森山喜久委員長 広聴特別委員会及び広報特別委員会で、一緒に。その場合であれば、それぞれの両委員会の正副委員長でちょっと協議をしておいていくという形になろうかと思えます。であれば、広聴特別委員会と広報特別委員会それぞれの委員会で再度検討するという意見ありましたがよろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）では、広報特別委員会及び広聴特別委員会ということでさせていただきます。次の「The 議会の記事は」についてはどうでしょうか。広報特別委員会と思いますが、広報特別委員会でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に、「LINE」については広聴特別委員会と思いますがよろしいでしょうか。厳密には議会事務局のほうでラインの通知をしてもらうような形になりますが。（「広報手段」と呼ぶ者あり）広報手段として、事前の通知ということで、広報特別委員会と事務局という形になろうかと思えます。市の公式LINEに入れるということです。広報特別委員会が適当かと思えますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、広報特別委員会ということで決定をします。（1）3月定例会のモニター意見の抽出及び委員会の振り分けはよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、（2）の6月定例会のモニター意見交換会の担当割り振りについてということで、出席者の案を提示させていただきました。

当初、参加の要望でばらけたところになりますので、モニターの参加人数が1人のところが多いです。このたび、委員長、副委員長は全部出席という形で捉えさせていただきますが、モニターが1人に対して、委員側が4人も5人もおればモニターが過剰に反応されるという形もあるので、1人のときでも3人程度かなと思っております。基本は委員長、副委員長で対応させていただいて、委員の皆さんについては参加できることを教えていただいて、決定するというところでよろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり)このことについては、委員の日程については、後ほど改めて調整をさせていただくという形でよろしいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)そうさせていただきます。

宮本政志委員 それは今の委員長、副委員長以外の5人の委員がそれぞれこの3日間のどれかに希望を出してくれってこと。それとも、原則は正副委員長で全部やるから、もし、「7月16日火曜日の14時に行きたいんです」という委員がおったらそれを委員長に伝えて、重なって人数が多くなっちゃいけないので調整します。あるいは、「どれも出席はしませんよ」と言う委員がおってもええってことなのかはちゃんと行ってよ。全員にどれか希望を出してくれって言いよるのか。希望があれば出してくれってというのがよく分かん。

森山喜久委員長 全員希望を出していただいて調整をさせていただきたい。委員には、必ず出ていただきたいとは思いますが、ただ、先ほど言ったように人数が多過ぎると、その日しか出られないという方がいらっしゃれば、遠慮してもらおうときもありますが、基本は出てもらおう。あとは調整をさせていただきたいということです。

宮本政志委員 必ず出てもらって。出てもらうのは何回ですか。1回でも必ず出てくださいって。必ず出てくれとはどういうことなん。

森山喜久委員長 今までどおり1回は出ていただきたいということです。

中島好人委員 この日は駄目で、この時間帯は駄目で、あとは全部いいですよということを私から言ったら、委員長のほうで適当に振り分けていただくのが分かりやすいかなと思ったんですけど。例えば「私は7月17日水曜日の午前中は他の会議があるんで、この日を避けてもらった後はどこでもいいです」。そういう形で進めていいものかどうか。

森山喜久委員長 そういう形で皆さん方から駄目な日、もしくは出れる日を聞かせていただいて調整してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

白井健一郎委員 モニター意見交換会に関する事なので、ここで発言しますが、私は今回広聴特別委員会に入らせていただいた後に、2回ほどチャンスはあったんですがいずれも出席者の方がこれないという事情があって、今回初めてになるんですけれども、このモニター意見交換会っていうのは、議員としてはどういう立場で望めばいいのか。例えば、議会報告会では個人の意見をなるべく言わないようにとか、議会で話し合われたその結論を前提として、報告するんだっていうのがありますよね。意見交換会っていうのは、結構積極的に一議員としての意見を結構やり取りしてもいいものなんですか。それとも、基本的にはモニターの意見を聞くということで、進行を全て正副委員長に任せて、ただモニターの意見を聴取する形で抑えたほうがいいのか、その点どうなんでしょうか。

森山喜久委員長 市議会モニターの方々には職務として、「市議会に関する知見を得るために、次のいずれかを行うこと」ということで、「市議会の本会議、委員会または政策討論会を傍聴し、またはインターネットにより視聴すること」、「市議会の報告会に参加すること」、「市議会の議会だより、ホームページまたはフェイスブックページを閲覧すること」等をお願いしています。その中で、その都度、本会議や委員会を傍聴したり、もしくはインターネットを視聴してどうでしたかっていうことで、一つ一つの項目ごとにモニターの意見を聞かせていただいて、その中で意見とか、これはどういうことかという形で言われたことをこちらから

返していきます。

宮本政志委員 今何かだらだら言ったけど、付議事項（２）は、意見交換会の担当割り振りでしょ。白井委員が言われたことは、その他で言えばいいんじゃない。担当割り振りを決めるところなのに何で今からモニター制度のことについて入っていくのか。その他のところでやればいいと思う。

森山喜久委員長 白井委員、その他のほうでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、（２）の定例会のモニター意見交換会の担当割り振りは以上でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次は、付議事項２番の議会カフェについてになります。（１）１２月定例会の議会カフェにおける質問に対する回答案についてです。それぞれ総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、民生福祉常任委員会で割り振りをさせていただいておりますが、最後の厚陽保育園の駐車場側溝の補修については、民生福祉常任委員会とはしておりますが、産業建設常任委員会にも触れることなので、産業建設常任委員会、民生福祉常任委員会の両方併記で回答をしたほうがいいのかと思いますので修正をさせていただきたいと思います。それ以外の点で皆さんのほうで、ここを修正しなきゃいけないというところがあればお願いします。よろしいでしょうか。

奥良秀委員 今言われた厚陽保育園の駐車場側溝の補修はしないのかという問いで、回答が回答になっていないと思われませんが、いかがでしょうか。

森山喜久委員長 ここはまた担当課のほうに再度、側溝の補修の関係はどうなのかを再度確認して、補足していただくようにしましょう。ほかはよろしいでしょうか。

高松秀樹議長 これ全部見てみると、結構多くが単純に執行部の答弁になっているんですよ。これ議会に市民の皆さんが言われているんですよ。だから執行部の答弁で終わるときはそれなりの終わり方、文言を書かないと。

これこのままいくと我々、執行部の下請みたいですよ。それでさらに、今後どうしていくのかっていうのがないと問題じゃないですか。例えば、1 ページ目も三つとも産業建設委員会でこれを見る限り、執行部の答えを書いているだけですよね。そうじゃないんじゃないかなって気がしますよね。1 番の「市の考えはどうなのか」はいいんですけど、最後「ございません」の後に、そういう回答があったとかいうのを書いたほうがいいかもしれませんよね。2 番、3 番目は完全に市の回答ですよ。この書き方ではまずいと思います。

森山喜久委員長 議長から御指摘あった市の執行部のみの回答というふうに捉えられるということがありますので、この辺をまた、各常任委員長を含めて、私のほうで調整をさせていただいて回答案を再度つくらせていただきたいと思います。よろしいですか。

宮本政志委員 ずっとモニターにしても、この議会カフェにしても半年とかものすごい期間かけて、回答がいつもできるんで大体いつ頃に、訂正を出されますか。

森山喜久委員長 来週になります。来週末18日までには示したいと思います。

宮本政志委員 6月定例会の今月の末に行われる議会カフェのときには、3月定例会のときの議会カフェの回答、前回の分の回答を。これまた12月の定例会のこれ回答分になるんで、そうすると、来週とかでも終わり頃になって、そんな悠長なことできるんやろうか。これぐらいの質問回答やったら、週明け早々にはできるんじゃないですかね。じゃないとこの3月定例会の分もあります。

白井健一郎委員 先ほど高松議長が、議会が執行部の下請のようなことやってるんじゃないかっていう発言がありましたが、本当私もそのとおりだと思うんですよね。議会カフェで市民の意見を聞くっていうことは別に、

市長がやってもいいことだし、議会がやってもいいことなだけで。基本的に民意という市民の声ということに支えられてますから。だけど、議会カフェで聞かれたことに対して、市の執行部は「こう答えてます」ってのはおかしいと思うんですよね。せっかく、常任委員会にかけるわけだから、常任委員会としての答えて、市の考えはどうか、市の考えを答えるんじゃないで、二つ目の「本山周辺の観光地に適した場所だ」の質問について言っているんですけど、「市の考えはどうか」って言われたら、「市の考えはこうです」っていうのは変な気がするんですよ。常任委員会に付託して委員会の総意というものをやっぱり上げるべきじゃないかと思うんですけれども、どうでしょうか。

森山喜久委員長 改めて、委員会として、議会としての対応とかの考え方を加えるということによろしいですか。

宮本政志委員 これ質問で市の考えはどうかって市民の方が聞かれたわけでしょ。だから「市の考え方はこうです」、これに対して「議会としてはこうです」ってしたほうがいいんじゃないかって。この方は市の考えはどうかって議会カフェで聞いたわけやろ。市の考え方だけやったら、確かに今のこのようなやり方やったら、議会はどうかのってなるから、並列させればいいんじゃない。市の考え方はこう。それに対して議会としては、こうですって載せればいいんじゃない。市民の質問内容というのを無視した形になるよね。「太陽光パネルの設置に対して、場所は本山周辺の観光地ですが、市ってどうやって考えているんですか」。このことを聞かれたわけでしょ。「議会としては」というのも必要やけど、市の考え方は回答すべきでしょう。そのことを推進の考え方に対して議会としてはこうですっていう答え方でいいんじゃない。

森山喜久委員長 具体的に頂きました。その中で市の対応と議会としてはという形で併記をしていくという形の御意見ありました。そういう形で項目によっては委員会ではちょっと難しいところも出てくるかもしれません

が。一旦暫時休憩します。

---

午前10時29分 休憩

---

---

午前10時52分 再開

---

森山喜久委員長 暫時休憩を解きまして委員会を再開します。議会カフェの御質問に対する回答は議会としての回答を検討すべきという意見がありましたので、改めて各常任委員長に、また戻して回答を求めていますと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それではそのようにしたいと思います。では、（１）12月定例会の議会カフェにおける質問に対する回答については以上でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）（２）3月定例会の議会カフェのアンケートの集計確認、議会カフェ報告書の質問等の抽出及び担当委員会の振り分けについてですが、3月定例会の議会カフェのアンケート集計のほうは別紙の円グラフ含めた集計で確認をしていただけたと思いますが、こちらのアンケートの関係、アンケート集計で気になる点とかありましたか。

奥良秀委員 アンケート集計結果の中で、「どのようにお知りになりましたか」という回答で、ほぼほぼ議員からの照会で、今私たちが、チラシも配っていますし、ポスターも貼っていますよね。だから、「ポスター・チラシ」という選択肢も書かれたほうが、結果が分かりやすいのかなと思いますので、次につくられるときには入れられたほうがいいのかなと思います。

森山喜久委員長 次回、アンケートをつくるときには、「チラシ・ポスターを見た」というところの記載も必要ということですね。ありがとうございます。

宮本政志委員 このことで、委員長、副委員長の考えはないのか。委員長とし

ては、副委員長としては、「ここはこうだ」というのはないのか。

前田浩司副委員長 開催を知った方法、手段のところのその他を14人が書いてありますけれども、もし明確に書くことが可能であればそこまで記述していただければと思います。

森山喜久委員長 こちらのその他の理由については、友人等、チラシ・ポスターというふうな記載があったと思います。今その振り分けまでは覚えていないんですけど、チラシ・ポスターと友人から知ったとあります。

奥良秀委員 こられた方が108人で回収が104人ということで、4人分が紛失したのか、出てないのか分からないんですが、やはりテーブルでその辺は徹底してもらえるように、もう一度お願いされたほうがよろしいんじゃないでしょうか。

森山喜久委員長 そちらのほうは徹底をするようにしたいと思います。

奥良秀委員 徹底されるのであれば、アンケートを集める人をその班で決められて、きちんと頂いて帰られるようにされてよろしいんじゃないでしょうか。今回4人の方が提出されてないのかどうかよく分からないんですけど4枚ないということで分かっております。であれば、その班でアンケートをきちんと集めて、こういうふうな紛失、要は提出漏れがないようにしていただければいいと思いますので、担当者を決めてもらったほうがよいのではないかという意見です。

森山喜久委員長 テーブルごとに担当を決めるということですね。また検討させてもらいたいと思います。このたび、アンケートを集計した中で、自由記述欄の最後のほうになりますが、議会カフェの進め方についてということで、「司会の進行がまずかった」という記載がありました。そこを含めて、こちらはその司会の進行を含めて議論しないといけないの

じゃないかというところで、「進行は微妙」とか、「まずかった」という意見が複数ありましたので、そこか今回集計した中で気になった点です。

高松秀樹議長 ここに常任委員会の委員長が2人いらっしゃって、私もテーブルについてなくて、森山委員長もテーブルについていないんですけど、今の委員長が言われる司会進行に不満を持ってる意見が、直接的には2点。実質的にはもう1点で、3点あります。これは具体的にはどういった内容を指すんですか。進行がよくないっていう意味合いだと思うんですけど、それが分からないとそれ改善ができないですよ。

森山喜久委員長 具体的なところですね。その辺で気づいた点があれば、この場で教えていただけたらと思いますが。前田副委員長は何かありますかね。

前田浩司副委員長 今、進行もしかるべきですけども、各所管の方の説明についても説明が不十分な部分、市民の方が理解できていない部分があったと思います。その辺は今後、次回の総合司会もさせてもらうようになりますので、その辺もきっちりしっかり状況を見ながら、進行を進めていきたいと思っております。ちなみに私は全体の司会を一応4回ともやる。あわせて、2回ほど総合の司会も一応するというところについては、時間的に前回はいっぱいいっぱいであったという状況にありますけれども、引き続きその辺の状況を見ながら、進めていきたいということです。

宮本政志委員 何を言っているのかよく分からんけど。「時間が足らん」とか「時間を長くしてほしい」という御意見があったり、前は「時間が足りません」とかね。結局、テーブルで進行する議員と、それから、3常任委員会はそれぞれ大体そろわんやったね。市民の方が多く来ていただいたんで、進行役とテーブルにもう1人議員が居る場合とかっていうのもまちまちやったんやけど。進行は進行で、例えば、ユーチューブで報告

したことをもう1回読み上げてやったりとか無駄な時間を使ったりとかね。あるいは、ある市民の方がテーブルでもうずっとしゃべって、すごく長い時間をとったり、それをうまく整理したいとかね。あるいは、議員の中では自分の意見をたらたら言う議員もおったりとかね。とにかく、進行がうまくできていない。そうすると言いたいけど何も言えんやった市民の方からこういう御意見がやっぱり出てくると思うよね。だからやはり進行をしっかりとできて、そしてその場のテーブルにおったけど、自分の個人的な意見をいう議員がおったら、そこをきちっと制止するなり修正するなりして、市民の方が意見を言いやすいテーブルにする。そういう進行役を今月の終わりの議会カフェの各テーブルに置かないといけんと思う。そうした場合に3常任委員長は、何かあったらいけんからってことで今待機してもらってることは非常に助かったんよ。分からんところで何回も奥委員長なり、伊場委員長なり、藤岡委員長を呼んで、的確に正確な回答をしてくれたので助かった。だけど、これだけ市民の方が多く来られて、テーブルの数が増えると、やはり3常任委員長も、これは、最終的に、足らんやったら3常任委員長が入るっていう形で、テーブルに余裕があれば今のままでいいと思ったんよ。だけど、3常任委員長が入ってもらって、しっかりもう進行役ができる議員に任せたほうがいいと思う。

森山喜久委員長 では、各テーブルに入られた白井委員、中島委員からは何か気づきがありますか。

白井健一郎委員 宮本委員の意見を先ほどから聞いてると、正確な答えというのが、まず一番大切なことだと考えているらしく思われるのですが、私は、少々間違ったってうまく市民とコミュニケーションが取れるかどうか、議会を身近に感じてくれるかどうか。そして1人の進行役が、「そら自分の知識にはまったぞ」とばかりにずっと5分、10分延々と話し続けるのではなくて、どんどん市民に振って、言いたいことを言ってもらおう。その際に、こちらからお返しする返答が、仮に少々おかしくても、

それを後日に批判されると何も言えなくなるんです。そして、個人的な話になりますが、山陽小野田市のホームページにたくさんの情報が載っています。議員の中でも、それを全部確認してきている人はほとんどいないと思う。たくさんの方が載ってるし、その場で検索したら出てくるかもしれないということで、私も日々の自己鍛錬ということで、このホームページの情報は読むようにはしているんですけども、それでもやっぱり市の事業計画っていうのも3年、4年で変わったりします。具体例で言うと、沖中川の河川修復工事だって、大きなビジョンが5年ぐらいでどんどん変わっていきます。今、2段階目か3段階目ぐらいに変わっています。それを全て押さえておくのはかなり難しい作業なんです。だから、少々知識が古くてたって、普通に山陽小野田市に暮らしていて、あと議会に出席して得ている知識で、うまく会話ができるかどうか。市民の方も半分は言いたいことを言えたっていう感覚が大切だと思うんです。

森山喜久委員長 最初の質問の司会の進行でのまずかった点とか、そういったところで気づいた点があるかどうかっていうことについてはどうなんでしょうか。

白井健一郎委員 具体的に何班の誰が悪かったって、書いてないので分かりませんが、私が進行役をしたAスクエアでの私のテーブルでは、「今日は今までで一番よかったです。」って言われました。それはなぜかと考えるならば、正確な答えを聞けたということ。それはもちろんあるんだけど、議員と親しくなって、お互い市民と市民の的一对一の会話がはずんで、テーブルのみんなで共有して、市のことを考えることができた。そんな時間を共有することができたってことも大きいんだと思います。今聞かれたことで、何がまずかったかっていう話を言われると私の司会はまずかったかなという時には不完全な知識も言ったかもしれないとは思いますが、基本的に私はそういうスタンスです。

中島好人委員 議会カフェは、どれだけの人が発言していくかっていうことで、

1人の意見について議員が答えるんじゃないくて、「この問題出されましたけども、皆さんの考えどうですか」、「あなたどう思われます」というふうにして、正確な答えよりも、自分の思いが言えると。こういう雰囲気をつくることは大事なことはないかなと思う。白井委員も有すると言われましたけども、それぞれが思った問題について、そういうのが自由に話せる機会をつくることのある意味では大事なことじゃないかなと感じます。

宮本政志委員 奥委員長とか、藤岡委員長の意見も聞きたいんですけど、議会報告会は議員の思いを言う場じゃないでしょ。さっき、そこを言ったの。自分の考えとか、テーブルの中で思いをだらだら言う議員もおるよ。そうではなくて、中島委員が最初に言った件と白井委員も一部言われたんだけど、まさに多くの市民が来られるので、できればこられた市民全員に「何かしら意見が言える場をつくるべきでしょ」って言っているの。議員が思いを言うのは、自分の後援会活動でやればいいんよ。街頭演説すればいいんよ。そういう考え方を持った議員が多いからテーブルで、自分の意見をだらだら長い時間かけて言う。それを言っているの。だから3常任委員長もできれば、テーブルが少なければ3常任委員長が今までどおり待機してもらって。ほんと助かるから。それでもテーブルが多くて、最近多いときは100人を超えるので。そういうときは、3常任委員長もテーブルの進行役に入ってもらって、きちっと進行できる議員でやったほうが、こういうクレームが少なくなる。もっと充実した意見交換会なると思う。自分の意見をだらだらはない。「間違った意見を言っでもしょうがない。」は、全然駄目。分からなければ、「持ち帰ります」、あるいは持ち帰る前に3常任委員長に聞くなり、そこで調べるなりして、「すみません、後でお答えさせていただきます」と。そもそもが議会報告会に当たっては、議案にしても予算書にしても、いろんなものを持って行って、チェックして「こういったことを聞かれたらきちっと答えよう」という準備していく。ほとんどの人が持ってきてない。手ぶらで来る人もいるけどタブレットだけで。正確な答弁はするべき。できなけれ

ば後日でもいい。うその答弁を議員がやるってことはもうもつてのほかよ。白井委員。過去にあったわけよ。市民の方があることでやっぱり調べてきて質問した。ある議員はうそばかり言うわけ。僕はそのテーブルにおったけど、市民は怒って来なくなった。そのときにおったパーフェクトに答える議員の名前は出さんけど、その方は逆にそのテーブルは好んじゃなかった。逆に全て答えられた方がおったから議員の中に。議員はやっぱりうそ言っただけはいけない。しっかり準備していかないと。分からんときのために3常任委員長が待機している。これは本当に助かる。それでもわからないときは「後日回答させていただきます申し訳ございません。」議会報告会でうそや自分の思いを言うのはあり得ん。そういうところの考え方を変えてもらわないとテーブルではめちゃくちゃになるよ。

森山喜久委員長 少なからず、3常任委員長の待機というのは、不明な点とかをきちんとその場で回答できる形で、3常任委員長の待機をしておりますので、そちらのほうはちゃんとしていただきたいと思います。それでもできなかつたりしたときは、後日回答ということは必要と思っております。

前田浩司副委員長 全議員がしっかり市民の方と対応を取っておられる。やはり、なかなか常任委員長を呼ぶことが難しい状況にあらうと思います。必要に応じて、例えば、テーブルに3色の札を用意しておいて、常任委員長はそれを見て札が立ったら、「あそこにちょっと行かないといけない」というふうな認識も必要かと。やはり声をかけることすらなかなか難しい状況になるんです。常任委員長を呼ぶっていうタイミングがなかなか難しい状況にあるように私は思ってるので。できる方とできない方がいらっしゃるので、必要性を感じたら札を上げて、常任委員長は、各テーブルの札を見て札が上がったら、そこに足を運んでいく。そういったことで、その時点で早期にきちんとした回答を求めていくために、常任委員長がいらっしゃるので、もっとそういった場面を有効に各テーブルのスタッフを呼びたいとは思いますがなかなかその辺ができるタ

イメージがないんじゃないか。私が感じたのはその部分なんですよ。話をしてるので、その辺の話も聞きたいというタイミングがあるので、呼びづらい部分があるから札が立ったら、そこに行くとか。

奥良秀委員 ルールのには、今は3常任委員長が別のところにいる、何かあったら呼ぶようにということになってるので、そこを徹底する。呼びにくいとかはありますが、すぐ呼んでもらえればいいと思いますので、そのように周知していただければいいと思います。

白井健一郎委員 間違えた事実とか、全くのうそは絶対に許されませんよ。それは最低限の前提なんですけど、後日談として話を聞いていると、ずっと腕組して、市民と全くその会話をしようもしない議員がいたとか、それが一番まずいって私は言ってるんです。

森山喜久委員長 こちらのアンケートの件でほかにありますか。気づきとかはよろしいですか。

高松秀樹議長 アンケートの件で、今議論になったところで、大体結構なんですけど、白井議員の発言、中島議員の発言、宮本議員の発言は真っ向から違うんですよ。このルールは、議会カフェの根幹に関わることなんですよ。それはしっかりとルール化しておかないと、「じゃあ、そういうことで」では、次はうまくいかないですよ。（「マニュアルをつくらんと」呼ぶ者あり）「マニュアルつくれ」じゃない。マニュアルはつくるのはあなたたちがつくるんですよ。委員の皆さんがここで協議して、協議会でもいいし、委員会の中でもいいんですけど。ちゃんと協議しないと、恐らく、また同じことになりますよ。いつするのか、今日するのか、それとも後日するのも含めて、決めたほうがいいと思う。

森山喜久委員長 このことについては、マニュアルの確認を含めて再度していきたいと思いますので、7月の議会カフェの前に今出た意見を委員会を

開催をしてやっていきたいと思いますがよろしいですか。それでは、アンケート集計の確認は以上ということによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、3月定例会の議会カフェの報告書の質問等の抽出及び担当委員会の割り振りになりますが、民生福祉常任委員会で2件、産業建設常任委員会の関係で1件を後日回答するというふうに挙がっておりますので、こちらはそれぞれの委員会に、振り分けたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

奥良秀委員 この民生福祉常任委員会の質問の2件なんですけど。確認させてもらいたいんですが、質問を読みます。「粗大ごみの出し方がまずくて置いて帰るという状況があるが、それを民間の業者に委託して大丈夫なのか」というのがあるんですけど、これは質問が二つあるんですよ。「粗大ごみの出し方がまずくて」というのは、まずかったら持って帰れないのは当たり前のことで、ここで答えちゃいけないんですけど、「民間の業者に委託して大丈夫か」というのは、きちんと入札して委託業者を決めておりますので、特に、だからこういうところか何で戻ってくるのかなっていうのと、「民間委託をするがその委託料の金額は現在よりどのくらい安くなるのか」ということで、これも民間委託して今回は安くなってなくて、逆に高くなってるので、その辺も、答えるといえ答えるようにはしますけど、ただその辺の精度をもう少し上げていただきたいっていうのが、意見としてあります。

宮本政志委員 奥委員と一緒に。産業建設常任委員会も水道管の耐震化は全体の何パーセントをやって、先ほど副委員長が言われた3常任委員長を呼びづらいつて理解できない。僕は藤岡委員長を呼んだ。管のほうは何パーセントで、全体的では四十何パーセントって答えられなかったから藤岡委員長を呼んできちんと答えてもらった。まさにそうなんですよ。これは、テーブルの進行なり何なりが、確認するために調べればよかった。そういったものを答えられんからって、持ってくるから、また委員会に持って帰ってから「何パーセントですか」とって回答しないといけんか

もしれんけど。だから、各テーブルが大事なんだ。

森山喜久委員長 各テーブルの進行とともに、先ほど述べましたが3常任委員長が待機してるっていう形で。そのときに呼んで対応していたら、それぞれの案件は終わっていたとは思いますが。こちらで振り分けをさせていただきます。それでは、(2)はよろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり)(3)6月定例会の議会カフェについて、アのマニュアルの確認なんですけれど、今、いろいろな意見がありましたので、それら含めてマニュアルの加筆していく必要があるかなと思いますが、現時点で示させていただいたのが、参加者の入室を今までは受付で、資料等を渡しておったんだけど、テーブルに資料を設置しておく。そして、来られた方はグループで来られた人とか、紹介された議員のところも含めて、それは、任意で参加者の方が座りたいテーブルに座ってもらうという形で、議会カフェのマニュアルに加筆しましたが、その点についてはどうでしょうか。1ページ目の下にあります参加者の入室開始のところで、テーブルに資料を最初から設置しておく。3番目に参加者の意思で各テーブルに座っていくというふうに変えていきたいと考えてます。

宮本政志委員 「参加者の意思にする」って、例えば、テーブルに既に市民の方4人が座られてて、5人のグループの方が来て、6人のグループの方が来て、「私もAのテーブルです」と意思に任せていきよったら、あるテーブルは十何人、あるテーブルは何人となる。これは今までどおり、基本的には、Aテーブルから順番に行くけども、中には「市民の方が別れたくない」、「ばらばらになりたくない」とか、「何々議員のあそこに行きたい」とか。そういうときは臨機応変に、誘導を誰がやるのか忘れたけど誘導する方が、分けたほうがいいんじゃない。これ、参加者の意思に任したら混乱するよ。

森山喜久委員長 各テーブルは大体8人で、議員がもう既に3人が座ってますので、残り5人になりますが、基本ベースはその中で座っていただく

ころ。グループで一緒に座りたいというところもあるでしょうから、その辺は、参加者の意思も尊重しながら臨機応変にしていくという形になるかと思います。そういう内容で記載させてもらいました。

宮本政志委員 これは今までAテーブルから順番でやりよったけど、それはどうい問題が起こったから参加者の意思に任せたいのか。従来どおりでいいと思うんだけど。中にはさっき言ったことがあったら誘導する方が臨機応変に対応を今までしてたじゃないか。Aテーブルから順番に誘導することに何の問題があったのか。「どこに問題が出てきたから」、あるいは「市民の方からいろんなクレームがあったから参加者の意思に任せましょう」。それで変更したいんだって。教えてもらっていいですか。

森山喜久委員長 実際に前回の埴生で、誘導をAテーブル、Bテーブル……と順番にやったんですけれど、途中で、後から入った参加者の方が、「このテーブルは嫌だ」ということで移動されました。なぜ嫌だったのかは詳しくは聞いてません。そのテーブルでなく、別のテーブルに行きたいということで移動されたというのもありましたので、グループごとの分、もしくは参加者のほうで、参加人数が少ないときに、全てを五つのグループに分けるということにはなりませんけれど、テーブルのところに座っていただく誘導のほうがいいのかなと思いました。マニュアルは確認しますが、一旦この形でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次回、また加筆のほうを改めさせていただきます。この議員の役割分担につきましても、先ほど、3常任委員長を入れたほうがいいのかという意見もありましたので、改めて、こちらの役割分担も再度見直しをさせていただきたいと思います。取りあえず人数の割り振りはこのような形で確認。担当については、再度こちらのほうで、考えさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

奥良秀委員 前回の議会報告会と今回の議会報告会の進行をいろいろ見る中で、

進行をやられてない方がいらっしゃいます。先ほど来の議論の中で、進行の進め方がどうのこうのっていう話もあるんですが、やはり、議会報告会っていうのは、議会でしていることなので、やはり議員は全て進行はしたほうがいいのではないかなと思いますので、そのような割り振りをしていただきたいと思います。

宮本政志委員 全く反対です。ここでの主役は市民の方で議員が主役じゃない。だから、今の奥委員の意見とは逆だね。しっかり事務局ともすり合わせて、委員長で、進行を任せたいと思う議員に進行を任せないと、「全員が進行しましょう」ってことを今までのようにやりよったら、先ほどの市民の方が「意見をせつかく言いに来たのに言えんやった」、あるいは「進行がまずかった」。何か「拙い」っていう言葉も出ていたよね。「●班ですが、司会の進行が拙かったです」って。拙いってことは能力がないってこと。だから、委員長がしっかり進行ができると思う議員を進行役として全部入れていけばいい。僕は、奥委員と逆の考えやね。

森山喜久委員 ほかの委員の皆さんはどういう考えか教えてもらえますか。割り振りの関係もありますので。

前田浩司副委員長 宮本委員がおっしゃられてるように、司会に向いている方を最優先で、決めていくべきかと思います。

藤岡修美委員 司会の上手、下手はあると思うんで、当面は上手な議員に、やっていただくという方向がいいかと思うんですけども、以前、議員の司会の能力を上げるために、ファシリテーターの研修があって、それぞれ、皆さんは講習を受けて、ある面司会の勉強をされたこともあると思うんで、そういった長い目で見て、議員の質を上げていくという考えも必要ではないかということをおっしゃいます。

白井健一郎委員 先ほど奥委員が言われたように、ある意味において機械的に

割り振ってあげばいいと思うんです。というのも、知識があるっていうことと司会をうまくするってことは別の能力なんです。どういうふうな場をつくりたいかっていうのは、それぞれの司会者によるでしょうけど、そこまでマニュアルで決めるかどうかはともかくとして、人それぞれ得意能力があるし、それをなかなかふだんは見えない場ってというのが、また議会カフェでもあるんで、ふだん話してない方がうまく進行してたら「この人ってこういうところに才能あるんだ」って、それもまた楽しみの一つだと思いますので、私は機械的に割り振っていいと思ってます。

中島好人委員 今、振り分け担当表を見てるわけですけども、これでいいと思ってたところなんです。

宮本政志委員 意見も様々あるんで、副委員長も含めて委員の意見を参考に、私はもう一度「考え直す、調整します」って先ほど委員長も言われたので、委員長に一任したいと思います。

森山喜久委員長 委員長一任でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では一任させていただきます。それでは、ウ、ポスター・チラシの配布についてということです。ポスターの配布担当は、前回に比べて、山口銀行小野田駅前支店と市内の保育園を増やしました。それ以外で、皆さんのほうでここを入れたほうがいいのかあれば。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

宮本政志委員 これは配布担当は委員会でわざわざ決めんでも、今後、このポスターを配布する場所を委員会で追加をしたりすることを付議事項にすればいいんじゃないかと思えます。担当者は、委員長のほうで振り分けてもらったらいいですよ。このポスターの配置場所は、以前よりもかなり増えとるし、今のところ私も目を通しましたが、ほかにここがいいんじゃないかっていうところはありません。これでいいと思えます。

森山喜久委員長 ほかにありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）なければポス

ター・チラシの配布場所は次から確認していきます。市内の保育園だけでもかなり増えてます。場所はこちらで。また担当は私のほうで割り振りをさせていただくということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、（３）の６月定例会の議会カフェについては以上でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、３のその他になります。その他について皆さんからの御意見とかはありますか。

白井健一郎委員 来週にモニターとの意見交換会がありますが、議員の側から勝手に話すことはないでしょうけれども、モニターから意見が出て、それに対して意見交換だからある程度こちらも意見を言うべきじゃないかと思ってるんですけども、マニュアルというかルールみたいなものはあるんでしょうか。

宮本政志委員 ルールは設置要綱があるけど。今、白井委員が言われるとおりに思う。意見交換の場なので、前の広聴特別委員会ときは意見交換会なのに、「聞き置くだけです」っていうことを委員長は言っていたの。何を言っているのかなと思いつたんだけど、意見交換会なんだから、白井委員が言われるとおりに思う。モニターの方から出てきたことに関して、委員が答えたり、あるいは委員のほうから、それに付随することになり、議会運営の活動に関係して「こういうことはどうでしょうか」、「どう思われますか」ってことを聞くっていうのは、当然、意見交換会でいいと思いますし、そこは特にルール決めっていうのは、わざわざしなくてもいいと思うけど。意見交換なので白井委員の今言われるとおりに。

森山喜久委員長 特段ルール決めまではしなくてもいいのかなと思っていますが白井委員、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

宮本政志委員 今、白井委員がモニターの意見交換会のこと言われたんやけど、これ見よって、今モニターって何人ですか。１４人かな。振り分けは団体から５人の個人で９人かな。委員長、それを教えてください。

森山喜久委員長 今、個人が7人で団体が6人を合わせて13人です。当初は、個人が9人で団体が6人でした。

宮本政志委員 今回はもう16日、17日、18日の3日間でしょうがないけども、そもそも議会モニターの意見交換の日程をこう3日も分散させて、時間も分散させたのは、コロナ感染症防止対策の関係で改選後の令和3年12月の委員会からやったと思う。全部の会議録に目を通したけど、最初は1回とか2回がどうだとかっていう議論があったわけで、コロナ感染症防止対策の関係でこうなってるんだから、もう1回でもいいんじゃないかと思う。これモニターだって一人一人でしょ。だからモニターの1番来やすい、最多で出てくれそうな日程を調整して、そこでモニターに集まってもらって、委員も全員が出席して意見交換会をしたらいんじゃないかって思う。今回はいいけど、次から。そういうふうにするんですけどね。

森山喜久委員長 今のことは議論の提起ということですね。事務局のほうから何かありますか。

河口議会事務局参事 今、宮本委員からお話があったようにいろんな方法あると思います。以前にあった話の中を一つ申し上げますと、1回で、モニターが全員集まって、特別委員も全員集まってやると、「モニターからの意見が出にくい」という意見が出たということを知っています。それだけ。一応頭に置いていただければと思っています。

白井健一郎委員 一つの時間帯に一つの枠にモニター1人、仮に委員が3人、4人つくとなった場合、モニターはかなり威圧を感じるんじゃないですかね。

宮本政志委員 今、白井委員が言われたのはそのとおり。それと今事務局から

も言われたところもあるんで、前期のときは、その都度にランダムにモニターから意見が出ておったと。数も多かったし、だから今の期の前広聴特別委員会で、モニター制度のモニター意見交換会の在り方として、「定例会ごとに関きましよう」って、これが今継続しとるよね。そうすると、先ほど事務局が言われたように一度に1日の日にちを決めて、時間も決めて集まりましよう、でもそのときに行かれなかった。そうするとそのモニターは「せっかく意見があつたのに」ってことがあつたりしたらいけないから、それをフォローするのに以前のようにファクスなりメールなりで、随時受け付けっていうのもまた今後議論していかないけんと思う。そういったこともある。それから、モニターも団体推薦がこの中で何人いらっしゃるか分からんけども、皆さん今度は令和3年の12月から、会議録の全部に目を通してください。そのときいろんな団体からの推薦、設置要綱の変更、全てそのときの議論が載つとるんですけど。これだけ出席率が悪いと今後のモニター制度そのものをどういうふうに充実させていくかってことも、議論していかないけんと思う。だからなぜモニターが来られないのか。来なくなったのか。その辺りっていうのも是非、一人一人に委員長のほうから確認してほしい。来ない人は全く来ない。返事もない方もいらっしゃるらしいです。でもこれはもう設置要綱で義務化されとるわけです。当時その議論もあつたけど。その辺りの情報をしっかり取ってください。これモニターを攻めているわけじゃなく、僕らが悪いと思う。だからその辺りしっかり、意見取ってもらって、どうやったらモニターから意見集約もできるかっていうのを今後議論していきましようよ。

森山喜久委員長 貴重な意見ありがとうございます。そちらについては、また改めてモニター制度をどうするか、どうやったら皆さんに、来てもらえるかというところを一人一人確認しながら、情報を集めてそれを皆さんに提起しながら協議をしていきたいと思ひます。今に付随することで何か皆さんからありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）あと1点ですが、チラシ・ポスターの内容の確認をしたかったですけど。写真つきがチラシ

で、マイナ保険証の移行が1点。ポスターについては、マイナ保険証への移行と、サンパーク二階催事場、「今回の主な報告内容」の文字をもう少し大きくできないかっていう3点の修正ということによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、修正のところは以上によろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、この最終的な確認は委員長と事務局のほうで確認させていただいて、確認でき次第印刷します。印刷ができたらまた事務局から各議員に連絡をさせていただきます。よろしいでしょうか。

中島好人委員 チラシですけども、修正した部分をできるだけ早くしてもらって、私も印刷して、関係者に配りたいと思っていますので、できるだけチラシを早くお願いしたい。

森山喜久委委員長 分かりました。

河口議会事務局参事 チラシについては、事務局に言っていただければその枚数を用意いたしますので、取り来ていただいてもいいし、データを渡してそれを印刷していただいても結構でございます。よろしく申し上げます。

森山喜久委員長 チラシ・ポスターはそういう形にさせていただきます。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは以上をもちまして広聴特別委員会を散会いたします。

---

午前11時44分 散会

---

令和6年（2024年）7月12日

広聴特別委員長 森山 喜久